公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	からふるデイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意図的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたち同士の交流が多く、普段の関わりに加えてSSTでの学習も行っているため、語彙の増加や積極性の強化、人間関係の協力の軽減が期待できます。	みんな遊びや集団でのクッキングなど、子ども同士でコミュニケーションを取り合いながら協力し合える場を設けています。	関わりの中でスタッフの介入を極力減らし、子どもたち同士で話し合うことで協力することや時には相手の意見に合わせることなど、今後の生活で必要になるコミュニケーションスキルを上昇できるような状況づくりを行います。
2	当施設はブレイルームを併設しているため、定期的な運動を行うことができます。	バランス感覚や体力・筋力など、利用者の方によって違う様々な悩みに合わせてサーキットやみんな遊びなどの取り組みも行っています。	運動の強いと取り組みだけでなく、みんな遊びという形で鬼ごっこや大縄跳びを行うことで、運動が苦手な子どもでも抵抗感なく体を動かす活動に参加できるようにしています。
3	プリントを用いた学力面での個別課題に加え、英語や音楽療法、英語など、幅広い分野の取り組みを行っています。	全ての分野において、それぞれの段階に合わせた内容を提供できるよう、心がけています。	集団での活動だと参加が難しい子もいるため、個別での取り組みも行うことで子ども自身のスキルを最大限に発揮できる場面も作っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの専門性の偏りが生じていたり、子どもの特性に対する理解をより深める必要がある。	すべてのスタッフが常に同じ児童に接せられるわけではないため、理解が浅くなってしまっている状態もあると考えられる。	子どもの様子に変化があれば情報共有を行い、対処法なども伝えあう。また、研修などへの参加も積極的にこなしていく。
2	似たような取り組みに落ち着いてしまっている。	新しい取り組みに対してどうしても抵抗感のある子どもがいたり、子どもによって取り組めることに差があることが原因であると考えられます。	全体的に新しいものに挑戦するのではなく、今行っているものの内容を少しずつ変化させさまざまな領域の取り組みを行えるようにしていく。
3	地域とのつながりの気薄さ	コロナ禍以来、地域での活動などが減ってしまったことで、地域の方々との関わりなどが築けていないことが原因であると考えられます。	地域で開催されている行事などへの参加を検討する。

公表 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 からふるデイサービス

公表日 2025年3月1日

利用児童数 16

回収数 10

	チェック項目	はい				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		1	利用人数と職員数を把握できていないため	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく標準化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	1	1	3		
	12 事業所を利用する際、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2	1	7	あっても参加しないかもしれない	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
保護者 への 説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	1	3		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9		1		注資料提出ではないが、もしアイでの様子や支援内容の発達と発達に合わせた対応が適切に実施されているか確認が必要であるが公表していない	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	2				
	22 個人情報取扱に十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		1		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1		1		
満足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	29 事業所の支援に満足していますか。	10					

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 からふるデイサービス

公表日 2025年 3月 1日

利用児童数

8

回収数 5

チェック項目		はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見	ご意見名請ますに対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5						
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5						
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	3	1		1			
	保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
		13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
		14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5					
		15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		4			1			
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		5						
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		4			1			
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		4			1			
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		5						
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		5						
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5							
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5						
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に進避、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5						
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5						
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5						
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	5						
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	5						
	29 事業所の支援に満足していますか。	5						